

保護者引き渡しを実施するケース

- 大規模な自然災害（地震・大雨・土砂崩れなど）が発生し、大きな被害が出た場合
- 不審者が学校に侵入し、実被害が出た場合
- 近隣地域で凶悪事件が発生し、犯人が逃走中で、児童に危害が及ぶ恐れがある場合

災害時の基本的な対応等

- 児童の安全確保・安否確認が最優先事項
- 被害が甚大な場合は、学校からの連絡（配信メール）ができない、電話等に応じられないことを想定

地震発生（震度5弱以上）の場合

地震発生（震度5弱以上）

児童が学校にいるとき

被害状況や学校からの連絡の有無にかかわらず

児童の引き渡し

※可能であれば配信メール

引き渡し登録者

震度5弱で学校へGO!

来校し引き取る

・引き取りに来るまで
学校待機

自然災害（大雨・暴風・大雪など）、不審者事案等の場合

自然災害等

児童が学校にいるとき

被害状況により、学校から配信メール

児童の引き渡し

引き渡し登録者

来校し引き取る

・引き取りに来るまで
学校待機

来校する場合は、下記のことにご注意願います。

- ・ ピロティで受付をし、児童の引き渡しは各教室（原則）で行います。
- ・ 非常時、学校敷地外に誘導係はいません。
- ・ 引き渡しに際しての保護者の事故等の対応はできません。

**引き渡しカードに名前のない方には児童を引き渡しすることができません。
カードには、可能性のある成人の方の名前をできるだけ複数記入願います。**